

平成28年度決算審査の
自由討議からの意見・提言

福知山市議会
平成29年12月1日

福 議 発 第 5 3 0 号

平成29年12月1日

福知山市長 大橋 一夫 様

福 知 山 市 議 会

議 長 大 谷 洋 介

決 算 審 査 委 員 会

委 員 長 桐 村 一 彦

平成28年度決算審査の自由討議からの意見・提言について

決算審査委員会では、平成28年度決算審査に関連する市政の重要事項について、平成29年10月11日に自由討議を行った。

その際に各委員から出された意見等について、「平成28年度決算審査の自由討議からの意見・提言」として取りまとめた。

この意見・提言について、今後の行政運営や翌年度予算編成の参考とされたい。

平成28年度決算審査の自由討議からの意見・提言

1 防災対策の強化について

- ①現在、国・府・市が一体となり由良川流域における総合的な治水対策事業が進められている。今後もさらなる防災対策の強化のために、治水対策事業にかかる早期の予算確保を図られたい。
- ②土砂災害、谷水から浸水、小さな水路の氾濫など被害も多様化している。今後も想定される突発的な災害に対応できるような基金の確保を図られたい。

2 公共施設マネジメントのあり方について

- ①公共施設マネジメント実施計画の策定の進捗状況を見ると、高額な解体費用、譲渡後のあり方など課題も見えてきた。5ヵ年計画の中間まとめと財政の見通しを明らかにされたい。
- ②ライフラインも含めた公共施設全体をマネジメントし、長寿命化によってランニングコストを下げ、少ない費用で必要な施設を最大限維持していく方針で進めることについて検討されたい。
- ③マネジメントの進捗状況については、決算審査に間に合う時期に報告されたい。

3 費用対効果の高い職員配置を

- ①少子高齢化、市民ニーズの多様化に対応するため、費用対効果が高く将来にわたって持続可能な職員配置が求められる。
地域の自主性を尊重しつつ、住民自治のあり方を見直し、地域協議会をはじめ市民と協働できる職員配置を検討されたい。